



#### 五内科学研究部の8人のメンバー

# 日常の疑問に 鋭い科学のメス

ユニークな研究の五中科学部研究室

昨年は科学雑誌が相次いで創刊されるなど、ちょっとして「科学」ブームでしたが、当市にも科学にまつわるうれしい話題がありました。毎年二、三回の研究テーマで知られる

アシはなぜできるのか」とうもので、どちらも日常の野間に、鋭い科学のメスをいたしました。

卒業を間近に控えた二人が後輩に贈る言葉は、「わからな  
いことがあつたらそのままに  
しておかないで、すぐ調べる  
こと」といいます。

大衆の馬鹿さ加減はそればかりではない。ステーショントリもなれば、一日でも見ようと我先に争い、ついには圧死者やケガ人まで出す始末だ。それというのも、現代文明のしくみにおいては、目立つた

曹海和尚は有徳のほまれ喜  
く、近江に長福寺 出雲に補  
覚寺を創立し、それぞれ開山  
第一世となつたのであるが、  
大衆がかり立てられるから  
ついでである。

二 新井田 稔

か山門に入らば、風浪あり、我先にと賽錢の雨、降らせたのである。

いてある  
とくと考えさせられる教訓  
ではないだろうか。  
この隨想は十一月に寄せ  
られたものですが、スペ  
ースの都合で今号に掲載  
させていただきました。

中年の私には、テレビの歌の番組の中で、この頃の歌謡曲がどうにも好きになれない。ある日突然ラウンジに顔を出した豆スター<sup>1</sup>が、大きなナクションで、その年代では理解できないような歌の文句を平気で歌いまくる。それを聞くかされた大衆は、作られ、計

歌舞や言動などが流行し、またそれが有名にもなり、有名になれば金になり、あとは運営の流れや人気、大衆が作るつと錢の雨を降らすからである。だからこそ、奇異な言動の〇〇トリオなどの歌が出てく

旨 次の話は和尚がかなり名前  
げた頃のことである。  
場所は江戸、駒込の吉祥寺。  
に曹海和尚が来られて説法され  
れるというので、江戸中が大騒ぎとなつた。大衆はひと目  
でもこの高徳の師を持みたいたい

三十人ばかりの供の僧を從て、今や遅しと待ち構えてる群衆の前に姿を現した。  
「ありがたや、ありがたや」と喜んで、こゝへ

登ってきなが  
人一人してお  
迎えする者もなく、札拵す  
る者もいなかつた……。  
身なりや墨書きを尊敬し、  
人氣という得体の知れない怪  
物に憧れる大衆は、いつもの  
んなものだ。金ピカの袈裟を  
着た橋の下の、そば食に土下座で  
て伏し拝み、自ら面倒見のつゝ

壳科学賞優秀賞を受賞したのです。

た「アシの研究」のために、わざわざ理科室の脇に「アシの官腰君と阿部君の二人だ」と書いた看板を進めてきた三年生は、部屋の煙を作るという力の入れでした。

が現れました。五中の隣に建設が進められている阿賀小であります。観察場所を変えなければならぬということですが、困難を克服して、すばらしい研究成果をあげてもらいたいものです。

お買物、ご用命は市内で

時間 室	午前 9:00～12:00	午後 12:00～17:00	夜 17:00～22:00	全日 9:00～22:00
<b>201号</b> (30坪)	4,000円	5,000円	6,000円	15,000円
<b>301号</b> (72坪)	8,000円	10,000円	12,000円	30,000円
<b>302号</b> (30坪)	3,000円	4,000円	5,000円	12,000円

謹賀新年  
自由に使える  
低料金貸ホール  
(株)三新軒事業部  
TEL(2)-1111